

決意を胸に第一歩

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7743(直)

2018年4月
創立30年
を迎え
ます

2017年度入学式

春の日差しに恵まれた4月4日、2017年度の石巻専修大学入学式が本学体育館で行われた。晴れやかな笑顔で式に臨んだ新入生は理工学部135人、経営学部111人、人間学部62人の学部生計308人と、大学院生6人。希望を胸にキャンパス生活の第一歩を踏み出した。

尾池守学長は式辞で、「私の専門はロケット」と前置きし、「5年後にやりたい自分に近づいたために今何をすべきか考えて。ロケットのように軌道修正しながら、目標達成のため着実に前進してください」と呼びかけた。

日高義博理事長、亀山紘石巻市長の祝辞に続き、大学院総代の高田健一さん(理工学研究科修士課程物質工学専攻)と、学部総代の佐藤完さん(経営学)が挨拶した。



尾池学長を前に誓いの言葉を述べる佐藤さん

サークル勧誘も活発

閉式後、新入生ガイダンスや学科ごとの教員紹介、学生・保護者懇談会などが行われた。また、専修大学の創立者の青春を描いた映画『学校をつくろう』の上映会も開催された。鑑賞した学生は、大学創立に奔走した



ワークショップを通じて交流を深めた

力での研究課題に取り組んでいく」と力を込めた。中学入学の年に東日本大震災に見舞われた佐藤さんは、6年前の失意の日々を思い起こしながら「つらく苦しいことにも学友と取り組み、先生方から多くのことを吸収して成長したい。努力を惜しまず過ごすことを誓います」と決意を示した。

4人の若者のドラマに見入っていた。学内はサークル団体による新入生の勧誘Ⅱ写真Ⅱをはじめ、記念写真を撮る保護者や友人同士の姿で活気にあふれていた。

松島でオリエンテーション

恒例の新入生オリエンテーション・セミナーが4月7、8の両日、日本三景の一つ、宮城県の松島で開催された。

新専任教員

新たに3人が専任教員となった(4月1日付)。各教員の氏名、職名、主な担当は次の通り。(敬称略)

【理工学部】

渡辺 正芳
准教授「基礎数学」「応用数学」

【人間学部】

新福 悦郎
教授「初等教科教育法(社会)」「教育方法論」

【幼児体育】

准教授「健康心理学」

3氏 名誉教授に

3月に定年退職された國分義弘元理工学部教授(在職19年)、鈴木均元人間学部教授(在職27年)、依願退職された深川通寛元経営学部教授(在職28年)に名誉教授の称号が授与された。

楽天野球団と連携協定結ぶ

石巻専修大学は、石巻地域の活性化とスポーツ振興を目指し、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスと連携協定を結んだ。



左から立花社長、尾池学長、市川辰雄専修大学常務理事。締結式で

グルスを運営する楽天野球団(立花陽三社長)と連携協定を結んだ。本学の「高大産(高校・大学・産業)連携プロジェクト」に球団が協力するほか、人的・物的・知的資源の交流や活用を図る。締結式は3月17日に東北楽天の本拠地、Kobbe 高大産連携プロジェクトで商品化を進めている米粉入りのかまぼこ「こめぼこ」。石巻北高と宮城水産高の生徒が開発し、理工学部の坂田隆研究室と経営学部の杉田博ゼミが商品化を支援する。本学が球団にプロジェクトの企画を提案したところ、コボパ宮城での販売など、密接に連携することで合意した。尾池学長は「こめぼこを手始めに地域振興につなげたい」と期待を語った。

新任2学部長、1研究科長

学部長、研究科長の改選が行われ、経営学部長に杉田博教授が、人間学部長に佐藤幹男教授が、大学院の経営学研究科長に佐々木万亀夫教授が就任した。

【経営学部長】
杉田博(すぎた・ひろ)

【人間学部長】
佐藤幹男(さとう・みきわ)

【経営学研究科長】
佐々木万亀夫(ささきまきわ)

国内留学1期生3人生田で勉学スタート



経営学部の学生が特別聴講生として専修大学生と一緒に学ぶ国内留学が始まり、1期生3人が生田キャンパスでの学生生活をスタートさせた。1期生は鈴木朋也さん、濱野律さん、菊池雄太さん。いずれも3年次

生。4月1日、完成したばかりの生田2号館を杉田博経営学部長と訪れ、教務ガイダンスを受けた。蔡仁錫専修大学経営学部長は「このような交流ができてうれしい。大きく前進してほしい。専修大学に所属し講義を受ける。

都合により
写真は掲載
いたしません

【経営学部長】
杉田博(すぎた・ひろ)

都合により
写真は掲載
いたしません

「石巻専大で培ったものを生かしてもっと成長していきたい」(鈴木さん)、「自分の夢を広げていくきっかけに」(濱野さん)、「ゼミでマーケティングを学んできたが専大では広告のゼミに入り知識を広げたい」(菊池さん)——と緊張した面持ちながら3人は抱負を力強く述べた。留学期間は本年8月まで。それぞれゼミナールに所属し講義を受ける。